

初心者コーナー

国際的なPPP推進機関の設立

1. はじめに

世界銀行の年次総会に合わせて、PPPをインフラ分野で推進するためにグローバル・インフラストラクチャー・ファシリティ（GIF）が銀行の中に10月9日設立されました。

ここでは、GIFの概要について紹介したいと思います。

2. グローバル・インフラストラクチャー・ファシリティ（GIF）設立の背景

GIFが設立された背景には、次の2つがあります。

- ① 発展途上国政府にとってインフラ投資のための長期的な資金確保が焦眉の急であること、及び
- ② 民間投資家と銀行にとっては、予測可能なキャッシュフローを伴った長期的な投資先が極めて少ないこと。

設立発起人会はワシントンで開催され、日本からも、政府と日本国際協力銀行（JBIC）の代表が参加しました。日本国際協力機構（JICA）も参加する意向のようです。

投資規模は、10兆円超を目指しているようです。

3. GIFの組織

GIFは、「パートナー」と呼ばれる参加機関から構成されます。

パートナーは、①資金パートナー、②技術パートナー及び③諮問パートナーの3つに区分され、資金パートナーは参加国政府でGIFへ出資をします。技術パートナーは、世界銀行、国際金融公社、アジア開発銀行、欧州開発銀行などの国際金融機関で、PPPプロジェクト組成についての技術的な支援や投資、融資などを行います。諮問パートナーは、民間金融機関や機関投資家で、投資や融資を行います。

資金パートナーと技術パートナーから構成される統制理事会（Governance Council）が意思決定機関で、GIF事務局がサポートします。諮問パートナーは、統制理事会メンバーと一緒に、諮問委員会（Advisory Council）を構成し、PPPプロジェクトへの投資・融資パッケージの組成を支援します。

事務局の本部はワシントンDCに置かれ、アジア太平洋地域を主たるターゲットと想定して、業務拠点はシンガポールに設けられます。シンガポール政府は、この業務拠点に大きな期待を寄せているようです。

設立発起人会に参加した機関をパートナー区分別に示すと以下ようになります。

（資金パートナー）

オーストラリア政府　カナダ政府　日本国政府　シンガポール政府

（技術パートナー）

世界銀行グループ　アジア開発銀行（ADB）　欧州投資銀行（EIB）　欧州復興開発銀行（EBRD）　イスラム開発銀行（ISDB）

（諮問パートナー）

世界年金会議（WPC）、国際協力銀行（JBIC）、マコーリーグループ、スタンダード銀行、HSBC銀行など17機関
GIFの組織を概念的に表わすと図1のようになります。2国間援助機関とも強調して活動をする方針のようですが、具体的な方法については今後検討するようです。

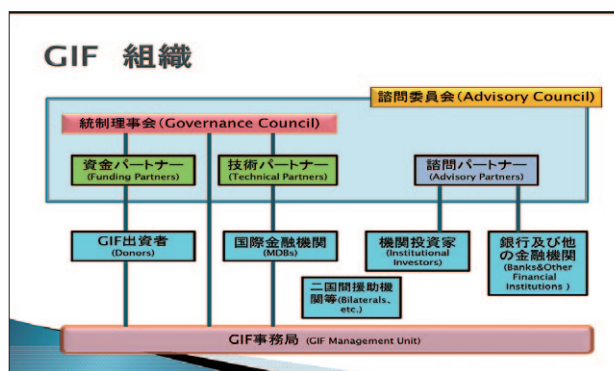


図1 GIFの組織

4. 当面の活動スケジュール

GIF事務局では、当初の基本財産を8千万米ドルから1億米ドルを目標にして、資金パートナーとの協定締結準備を行っています。並行して、技術パートナー及び諮問パートナーとの協定も準備しています。業務開始を2015年3月に想定し、全てのパートナーとの協定をそれまでに締結したい意向です。

現在、事務局では、業務開始後3年間をパイロット・フェーズとして、10数個のプロジェクトをパイロット・プロジェクトとして想定して業務を行い、その活動成果のレビューを行うこととしています。

5. おわりに

ジム・ヨン・キム世界銀行グループ総裁は、GIF設立発起人会の席上、「真の課題は資金ではなく、融資可能なプロジェクトの不足、すなわち採算に合う持続可能なインフラ投資が十分に供給されていないことです。」と述べました。

将に、投資対象となるプロジェクトをどのように組み立てるのが世界的な課題になっており、我が国企業もPPPプロジェクトをグローバル・スタンダードに沿ってこれからどのように競争的なビジネス環境で組み立てて行くのかが問われていると言えるのではないのでしょうか。

（海外支援室長 審議役 藤森祥弘）